

- 【日 程】 令和3年7月13日（火）～9月4日（土）10：00～17：00
※休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）
- 【場 所】 北海道大学総合博物館 1 階企画展示室（札幌市北区北 10 条西 8 丁目）
JR 札幌駅北口より徒歩 15 分，地下鉄南北線北 12 条駅より徒歩 10 分
- 【主 催】 北海道大学総合博物館
- 【協 力】 北山太樹（国立科学博物館），東京大学総合研究博物館，日本藻類学会
- 【対 象】 一般市民
- 【入 場 料】 無料
- 【言 語】 日本語・英語キャプションあり
- 【注意事項】 駐車場はありませんので，公共交通機関にてお越しください。
新型コロナウイルス感染症対策のため，開館日程が変更されることがあります。
- 【参加アーティスト】 長坂有希
- 【アートディレクター】 端 聡（CAI 現代芸術研究所/CAI03）
- 【アートコーディネーター】 佐野由美子（CAI 現代芸術研究所/CAI03）
- 【グラフィックデザイン】 武田浩志

オープニングセレモニー（令和3年7月13日（火）10：00～10：45）

会場：総合博物館知の交流ホール，企画展示室前（1 階）

司会：阿部剛史准教授

プログラム：

1. 主催者挨拶 小澤丈夫 総合博物館長
2. 来賓挨拶 山本文彦 理事・副学長
小亀一弘 日本藻類学会会長
3. テープカット
4. 開場
5. 展示担当者の展示解説（企画展示室） 阿部剛史准教授

※新型コロナウイルス感染症対策のため，人数制限を実施しておりますので，
ご参加いただけるメディアの方は事前に下記お問い合わせ先へご連絡ください。

お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課博物館担当

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029 メール museum@jimu.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/topics/17623/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

夏季企画展示

藻類の 時間軸

私たちの
始まりへ

標本展示 北海道大学総合博物館が収蔵する重要な標本の展示

作品展示

長坂有希「カムイワッカへ、そして私たちの始まりへ」

2021年7月13日(火)～9月4日(土) 10:00～17:00

北海道大学総合博物館 1階企画展示室

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 TEL 011-706-2658

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日休館) 〈入場無料〉

[主催] 北海道大学総合博物館 [協力] 北山太樹(国立科学博物館)、東京大学総合研究博物館、日本藻類学会



THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM

北海道大学総合博物館

藻類の時間軸 — 私たちの始まりへ —

To Our Beginnings: Time Traveling through Algae

かつての生物学では生物は動物と植物に二分されており、菌類や藻類は植物の下等なものとして位置づけられていた。しかし、現代の生物学では菌類はむしろ動物に近縁で、藻類には菌類と動物の間の違いよりも系統的にかけ離れた多くの群が含まれることが判っている。

太古の地球には気体の酸素がほとんど存在していなかった。しかし、原始的な藻類が光合成の仕組みを確立して、数億年にわたり酸素を放出し続けたことにより、地球環境は激変し、その結果として私たち人類を含む酸素呼吸をする生物が繁栄するようになった。また、藻類が放出した酸素は海水中に溶けていた鉄イオンを酸化沈殿させ、私たち人類の文明を支える鉄鉱床がこの時生成された。

今展覧会ではこのような藻類を軸とした地球史、そして日本の藻類学の歴史を、北海道大学総合博物館が収蔵する日本の海藻学の黎明期から蓄積された重要な標本の数々と、藻類を介して個人的な視点から地球史を語った長坂有希によるインスタレーション作品の展示を通して描写する。今展覧会は科学と美術の領域を横断しながら、藻類のさまざまな側面に触れていただく機会であり、ほぼ全てを当博物館が収蔵している日本国内の海藻ホロタイプ(生物の学名変更の際など、分類学的取り扱いの基準となる唯一の標本)の一部を実際にご覧いただく貴重な機会でもある。

長坂 有希 「カムイワッカへ、そして私たちの始まりへ」

生物がいけないと言い伝えられてきたカムイワッカ湯の滝に棲息しているという藻の一種のイデユコゴメを見るために、そして環境が変わる前の原始の地球の風景を探して、長坂は雪で閉ざされた知床半島に分け入り、徒歩で滝を目指すことにした。今作品で長坂は、滝への身体的な旅と太古の地球への空想的な旅を重ね合わせて物語るとともに、人間の根源的な未知への好奇心と共有したいという願望についても一石を投じる。



「カムイワッカへ、そして私たちの始まりへ」2018, CAI現代芸術研究所/CAI02, 札幌

長坂有希／アーティスト。1980年大阪府生まれ。日本と香港を拠点としながら様々な場所で活動を行なっている。香港城市大学クリエイティブ・メディア学科博士課程に在籍中。リサーチとストーリーテリングを制作の主軸とし、遭遇した事象の文化的、歴史的、または科学的な意義や背景の理解と、自身の記憶や体験が混じりあう点に浮かび上がるものを物語として表現している。主な展覧会に「Times of Crisis」(ポローニャ近代美術館 MAMbo, 2021年(予定))、「ARTS&ROUTES - あわいをたどる旅 - 」(秋田県立近代美術館, 2020年)、「Quatro Elementos」(ポルト市立美術館, 2017年)、「マテリアルとメカニズム」(国際芸術センター青森, 2014年)など。
<https://www.akinagasaka.net/>

【主催】北海道大学総合博物館

【協力】北山太樹(国立科学博物館)、東京大学総合研究博物館、日本藻類学会

【参加アーティスト】長坂有希 [アートディレクター] 端聡(CAI現代芸術研究所/CAI03)

【アートコーディネーター】佐野由美子(CAI現代芸術研究所/CAI03) [グラフィックデザイン] 武田浩志



THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM
北海道大学総合博物館

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
TEL 011-706-2658

【交通案内】JR札幌駅北口より徒歩10分。博物館周辺に駐車場はありません。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願い致します。



<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

会期中のイベント情報や、新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報につきましては、博物館ウェブサイトでご確認の上お出かけください。

2021年7月13日(火)～9月4日(土)
開館時間 10:00～17:00 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日休館) 〈入場無料〉
北海道大学総合博物館 1階 企画展示室